

The After 6 weeks report

Report from: Sen (DI)

Project: Farmers Club Lilongwe

Period: May 15, 2009 to July 15, 2009

1. 私の状況

マラウィに着いて6週間、私は主に幼稚園での先生の指導と、農民の指導をしていました。どちらの仕事もとても大変で、特に計画を自分たちで作る、それを実行していくことは難しい作業でした。しかし、少しずつであったけど、現地の人々とコミュニケーションをはかり、また、少しずつであるけど、彼らの信頼を得ることができ、自分のボランティアの仕事に少しは充実を得ることが出来ました。

2. 私の仕事

現時点で、私は三つのメインの仕事を持っています。一つ目は、幼稚園での仕事。二つ目は、農民支援活動。三つ目は、農民の状況調査と、農民支援キャンペーン。

I. 幼稚園支援活動

今、私は5つの幼稚園の支援活動をしています。(幼稚園の名前 Nyanda, Musanji, Sixpens, Kambiya, Chikweteza) 実際、これらの幼稚園の状況は悪く、たとえば、子供のための勉強道具もなく、ましてや、食べるものない状況でした。それに加え、衛生環境もとても悪い状況でした。私は、この状況を変えるために、毎朝、幼稚園に向かい状況改善の話し合いを村の先生たちと話し合い、また、時にはどのような教育の仕方が子供たちに良いのか、自分なりに試行錯誤しながら実践したりもしました。



II. 農民支援活動

私は、農民の持つ農園の手伝いをし、また、自分で農園を作り、実際に農作物を作ることに取り掛かりました。まず、良質の土作りをはじめました。お金も科学肥料もないので自分たちで、良い土を作らなくてははいけません。それで、一番簡単でお手軽な、枯葉を燃や

しそれを土と混ぜ、水を加え、数日待つという手段をつかい、農園の土をつくりました。種は、運よくプロジェクトから手に入れることができました。



III. 農民状況調査とキャンペーン

各地の村に通訳と一緒にいき、そこで農民にインタビューをし、作物の写真を取り、簡単な農民のための新聞を作りました。残念なことに、その新聞は農民全員に支給することができませんでした。主に、プロジェクトの人々にむけてのものでしかありませんでした。

3. これからの問題点、目標

私は、幼稚園の状況改善に強い関心がある。なぜならば、村人や私のプロジェクトのスタッフもあまり、幼稚園での活動に興味を抱いていないからである。確かに、私のプロジェクトは農民支援の活動である。しかし、子供の教育水準を上げていくことも、これからのマラウィのためになるのではないかと考え、私はこの活動を自主的にやっっていこうと考えた。まず、どのように活動していくかを自分なりにプランをたてた。

1 step: 各幼稚園の状況調査

2 step: 教師や親と問題点の話し合い (community member)

3 step: 他のボランティアとの情報交換や話し合い (UNICEF, CBO=マラウィ政府のボランティア組織, and BANAI School=マラウィの教師の学校)

4 step: 改善

- Food condition— (vegetable garden, School lunch)
- Teaching method
- Hygiene condition
- Other issues

5 step: 教師へのスキル育成 (for become supervisor)

6 step: 教師間の情報交換の組織

他に、村単位での親のための改善プラン。

< School Committee > (Responsibilities for committee)

1. Solve the problems at preschool

2. Build a school
3. Secure the food
4. Assist with materials
5. Watch whether children are going to preschool
6. Communicate with government (CBO)
7. Income generation (Open vegetable garden)
8. Watch how teachers are doing (Make plans together)

(Teaching condition)

- ① Lesson Plan
- ② Follow the plan
- ③ Teaching method

(Teaching materials)

- ① Teaching materials
- ② Effective use
- ③ Developing material

(Hygiene condition)

- ① Washing hands
- ② Cleanness of building

(Food)

- ① Food(school lunch)
- ② Cooking assistance

このプランは、以前D Iとして働いていた人のものを参考にしている。



また、自分たちの農園を拡大していった。なぜならば、自分たちの農園から、野菜の苗を作り、それを幼稚園や他の農民に提供していこうと考えるからだ。



4. 最後に

私にはあと4ヶ月マラウィで働く時間がある。しかし、ほんの少しの期間であり、正直、本当に短い期間である。やっと現時点で自分ができること、目指そうと思っていることがわかり、時間をもっと大切にしようと考えている。また、私の活動をもっと円滑にするには、現地語の理解をもっと深め、村人たちとのコミュニケーションを密にしていく必要があると考えられる。とにかく、自分ができることを一生懸命やっっていこうと考える。この限られた時間を無駄にしないよう、これからも頑張っっていこうと考える。



2008年11月チーム 高山栓